

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(Webサイト掲載日: 令和8年2月20日)

開催日及び場所		令和8年1月20日(火) 関東森林管理局 5階中会議室				
委員		後藤 充隆 (弁護士) 臂 真里緒 (ジャーナリスト) 武藤 善行 (公認会計士)				
審議対象期間		令和7年7月1日 ~ 令和7年9月30日				
審議対象案件		128件	うち、1者応札案件 63件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件			
抽出案件		5件 (抽出率 3.9%)	うち、1者応札案件 5件 (抽出率 7.9%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件			
抽出案件内訳	工事	一般競争		2件	うち 1者応札 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件	
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
	随意契約		0件			
	業務	一般競争		0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
			標準型プロポーザル		該当なし	
	その他の随意契約		0件			
	物品・役務等	一般競争		3件	うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争		該当なし		
随意契約(企画競争・公募)		該当なし				
随意契約(その他)		0件				
(特記事項) 落札率が高い案件又は随意契約となった案件等を抽出して審議						
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等			
	○本件は3月に入札した際、不落となったことから再公告を行ったことだが、再度入札を行う回数に基準はあるのか。また、再公告を行う時期についても基準はあるのか。(契約番号: O001)		再度入札を行う回数については、「関東森林管理局等競争入札心得」において、森林整備事業の競争契約入札の場合は原則2回としているが、応札状況や事業の履行期間などの状況を踏まえ、支出負担行為担当官等の判断で決めている。また、再公告及び入札を行う時期についても、不落となった原因や他機関の入札状況などを踏まえ、支出負担行為担当官等の判断で決めている。			
	○本件は令和6年度に伐採した箇所の造林事業とのことだが、伐採後は植林を行うことから同時期に発注できなかったのか。(契約番号: N004)		当局では、伐採から地拵えまで等の作業を一連の工程で行う「一貫作業システム」を進めているが、地域によってはそれぞれの作業を専門としている業者が多く、一連の作業を行える業者が少ない状況もある。そのため、それぞれ時期を分けて発注を行うこともある。			
○測量を実施する業者は多く、新規参入しやすいイメージを持っているが、1者応札となった原因は何が考えられるか。(契約番号: K002)		本件は、明治34年及び昭和42年に境界測量された成果について再測量し、境界標識と測量成果が一致しているかの確認や不明瞭個所の境界標識の整備を行う事業であるが、誤差が生じている個所については当局の測定規程に基づいた修正を行うこと、また、測量や境界標を整備する場所が山間部であること、という特殊事情もあることから実績のない業者は参入を控えたのではないかと考える。				
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特になし				

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	令和8年1月20日(火) 関東森林管理局5階中会議室			
委員	後藤 充隆 (弁護士) 臂 真里緒 (ジャーナリスト) 武藤 善行 (公認会計士)			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	・			・
	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				